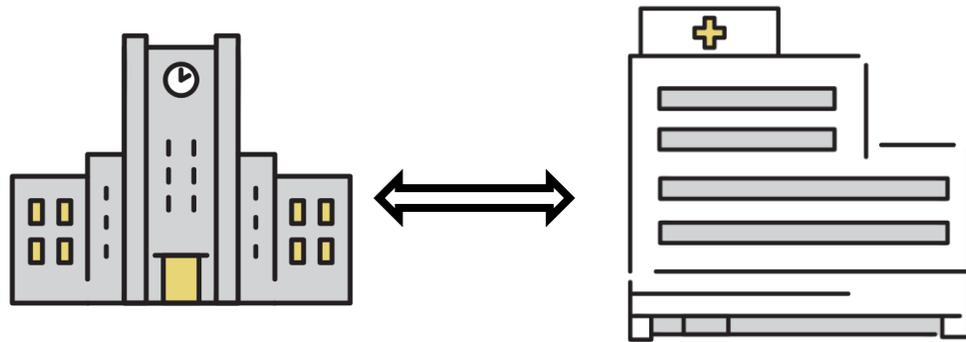


EduMed

「教育」と「医療」の連携促進



学習支援や交流体験の提供と創出

療養中の子どもや中高生の
自己肯定感・自己効力感を育む

学生の多職種連携の視点を育む

○メンバーの拡充

附属病院での対面学習支援実施には松本キャンパスからの参加者も募る必要性がある。

○前期中

- ・現在、ニーズのある生徒（高校生2名）への支援をメインに活動（7月に開始予定）
- ・小中高校生向けへの学習プリントの作成

○さらに・・・

- ・ロボット（ORIHIMEなど）を用いた遠隔交流
- ・オンライン上での交流体制の準備
- ・院内学級を持たない病院へ対象拡大

備考

- ・学生同士での勉強会/研修会の実施
- ・医療との連携における倫理面の十分な配慮（個人情報、病院との連絡先等）

連携・協力機関

- ・信州大学医学部附属病院
（すでに面談を行い、ニーズの状況を**確認済**）
- ・東長野病院
… 他、県立こども病院などにも連絡済

メンバー（正副代表）

Youth

太田 優里奈 (MI)
笠原 菜緒 (特支3)

目的と意義

○現状への問題意識

長期入院によって、学習や教育機会が乏しくなり、発達への影響が懸念される。また、他者との交流機会も少なく、子ども期における十分な「楽しい時間」を経験できないことも多い

○課題解決を目指して

課題に対して、相互作用のある学習支援の実施やICTを活用した交流の場や相談などの時間を設け、子どもたちへ支援を行う

○なぜ私たちがやるのか

大学生が関わることで子どもや中高生が「個人」としてられる時間を取り戻す。教育学部生として学習支援の充実に寄与できる。また、学生自身の体験として医療との関わりを積むことで学校現場でも活かせる。

活動内容について

○対面/非対面での学習支援&交流

信大附属病院は対面支援が可能のため、直接学習支援を実施。病院や子どもの状況によって、オンラインが望まれる場合は柔軟に対応

○学びの知的好奇心を高める学習プリントの配布

○交流企画の実施

ボードゲーム、簡単な工作、季節に合わせたイベント（クリスマスや七夕など）

<初回の活動に向けて>

アンケートを本人に行き、科目や支援を受けたい内容について聞き取る。関係性構築のためのきっかけをつくる。